

地域高規格道路 境港出雲道路

松江北道路 第2回意見交換会

松江北道路計画検討事務局

1. 松江北道路の概要
2. 計画検討の進め方
3. 第1回意見交換会で寄せられた主な意見
4. 概略計画案(ルート帯)とその評価
5. 今後の予定(アンケート調査)

松江市内道路ネットワークの現状と課題

①交通渋滞・交通事故



②災害・緊急時の備え



③その他

- ・山陰道への接続
- ・地域活性化、観光振興

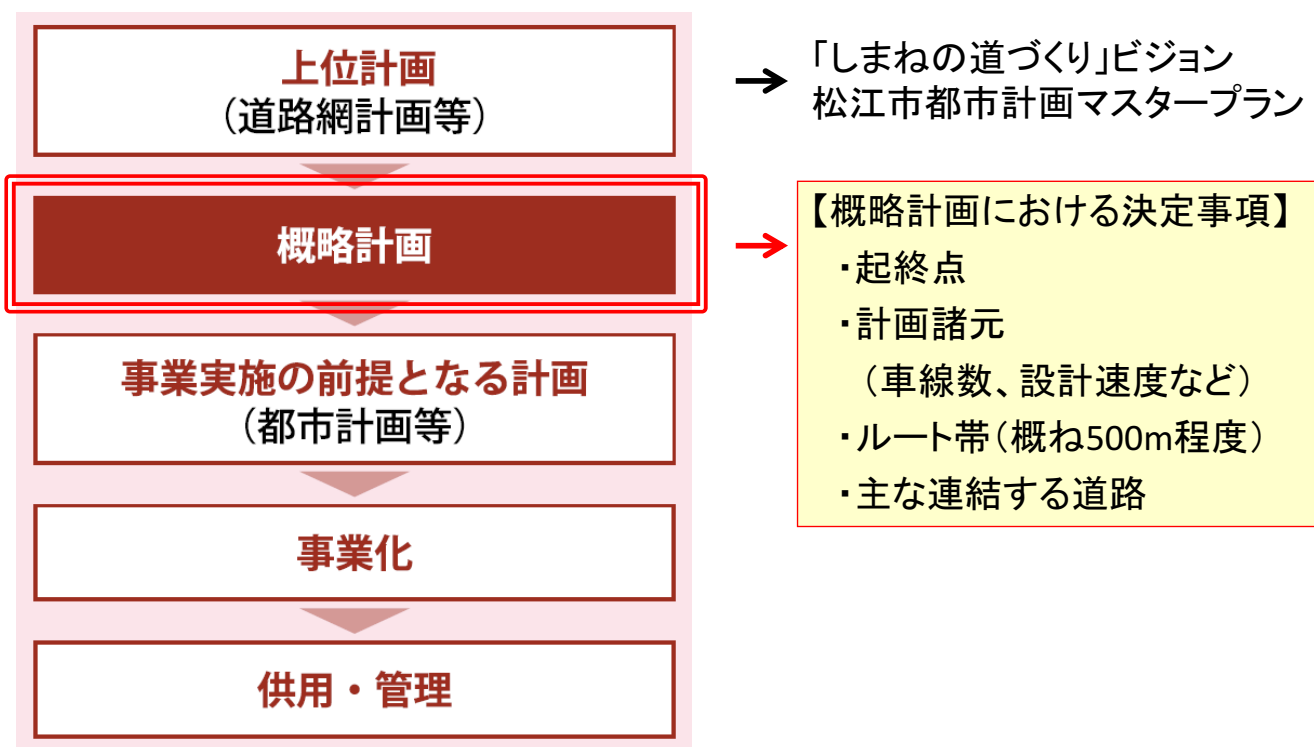


検討範囲

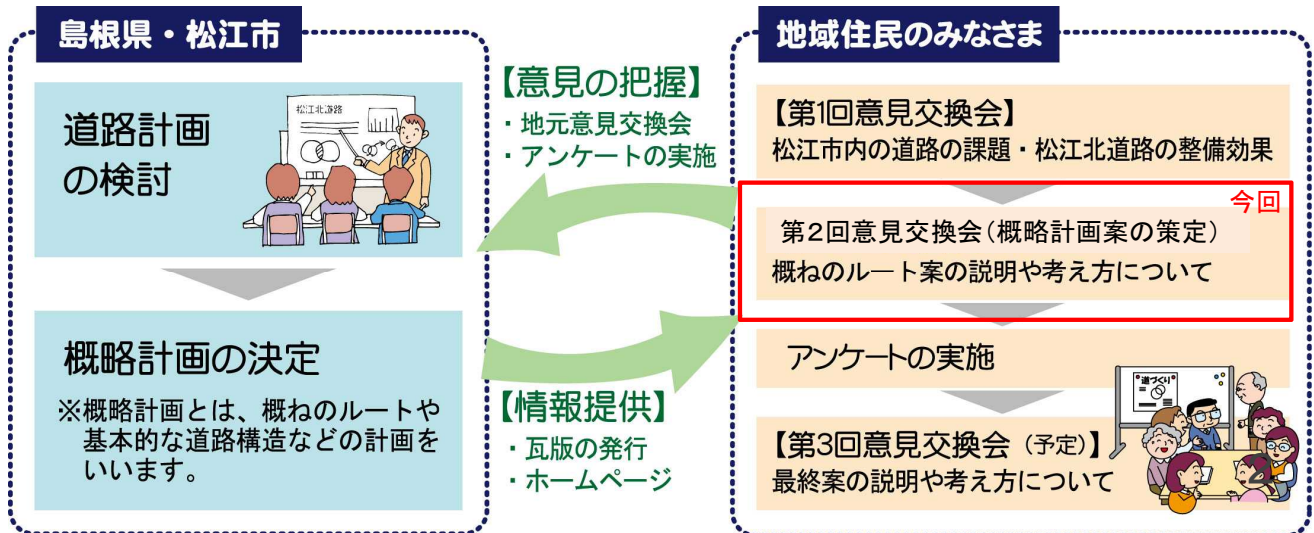
- ・道路規格： 第3種2級
- ・設計速度： 60km/h
- ・車線数： 2車線
- ・交差点： 集約して本線の走行性を確保



現在の検討段階



透明性や客観性、合理性、公正性を高め、より良い道路計画とするため、概略計画を策定する構想段階において、情報提供、意見把握を積極的に行います。



第1回意見交換会で寄せられた主な意見

必要性について

<必要である>

- 道路ができることで、松江市北部地区の発展につながると思う。
- 島根県と鳥取県の観光連携、利便性を高めるために良いと思う。
- 道路の必要性は理解したので、スケジュールを早めて具体的なルートを決めてほしい。

必要性について

＜必要でない＞

- 将来的には少子高齢化・人口減少などにより、交通量も減少することが予想されるが、この道路は本当に必要か？

→将来の人口減少などを見込んだ上で将来交通量を推計しましたが、交通量は極端に減らないと予測しています。

- 松江市中心部の渋滞は本当におさまるのか？

→中心部の通過交通が排除され、渋滞は緩和されると考えています。

- 車に依存しない都市づくりが根本問題ではないか？

→ソフト、ハード両面の視点で取り組む必要があると考えます。

検討における配慮事項について

- 通学路の安全性を確保した計画としてほしい。
- 交差点の集約はあまりしないでほしい。
- 道路ができることによって、周辺の農地が開発されることのないようにしてほしい。
- 田園地帯の景観を壊さないようにしてほしい。
- 農地や白鳥の飛来に影響がないような範囲で計画してほしい。

本日の説明内容

複数の概略計画案

第1回意見交換会で皆様からいただいた意見等も踏まえて設定した概略計画案(起終点および概ね500m程度の幅をもった「ルート帯」)をお示しします。

評価の視点

どのような視点で、ルートを検討・計画するかをご説明します。

各概略計画案の評価

上記の評価の視点から、各案について評価した結果をご説明します。

これらについて、皆さまのご意見をうかがいます

概略計画案(ルート帯)を検討するにあって考慮した主な地点

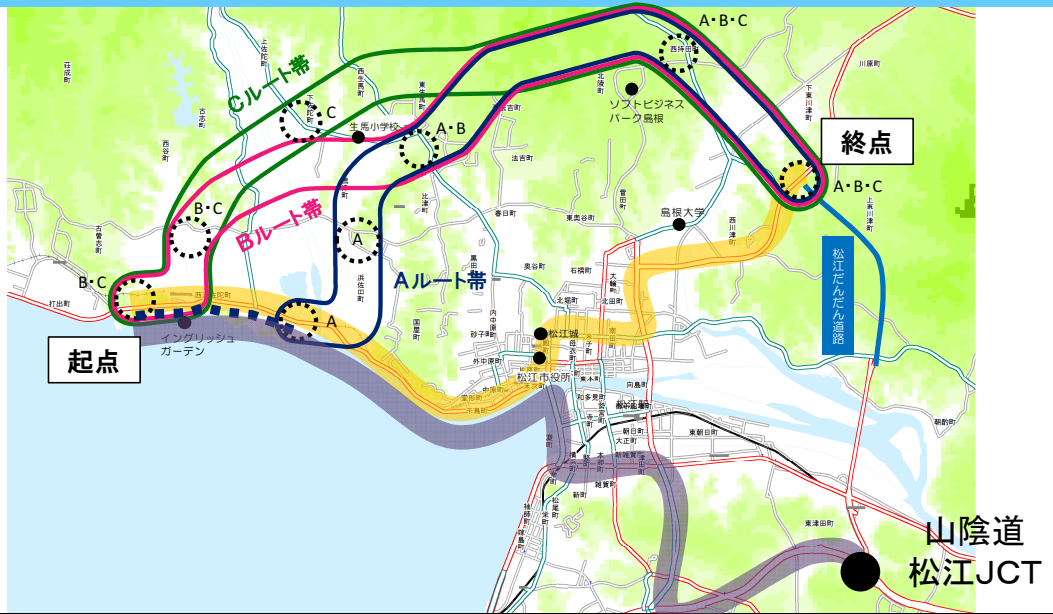
- ◆ 社会環境
病院、学校、養護施設、住宅団地、
主要道路や鉄道との交差、接続の位置など
- ◆ 土地利用
集落、農地など
- ◆ 文化財等
神社、仏閣、名勝、史跡など
- ◆ 自然環境
希少動植物など
- ◆ 地形地質
急傾斜地、地滑り地帯、軟弱地盤など



設定した評価項目

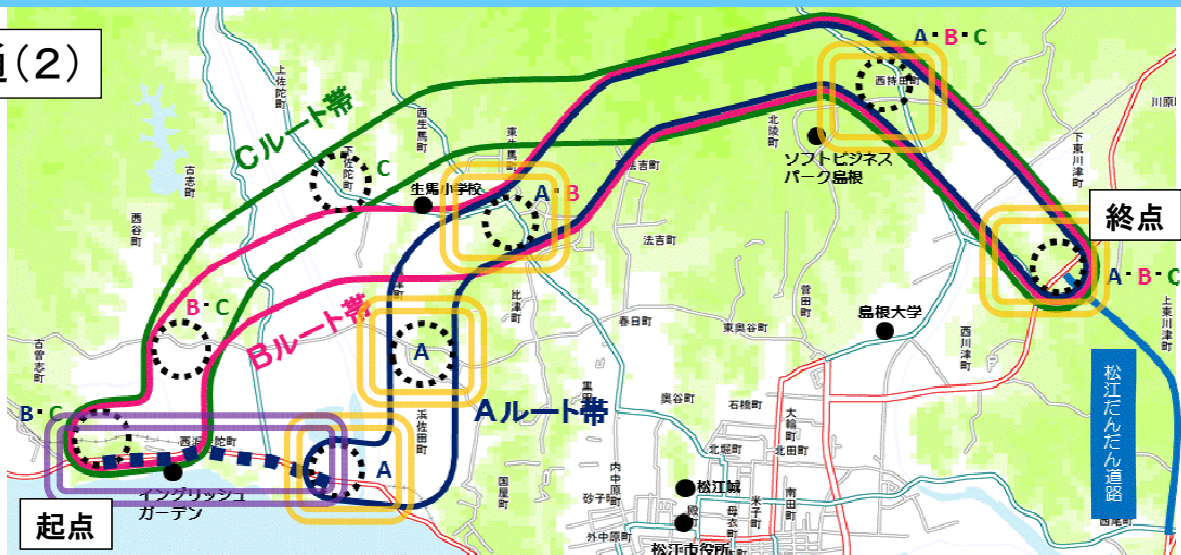
分野	評価項目
交通	<ul style="list-style-type: none"> ○バイパス機能(時間短縮) ○市街地からのアクセス利便性 ○渋滞の緩和 ○道路の走行性
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅地、コミュニティへの影響 ○農地への影響
事業性	<ul style="list-style-type: none"> ○概算事業費 ○工事延長 ○施工条件

交通(1)

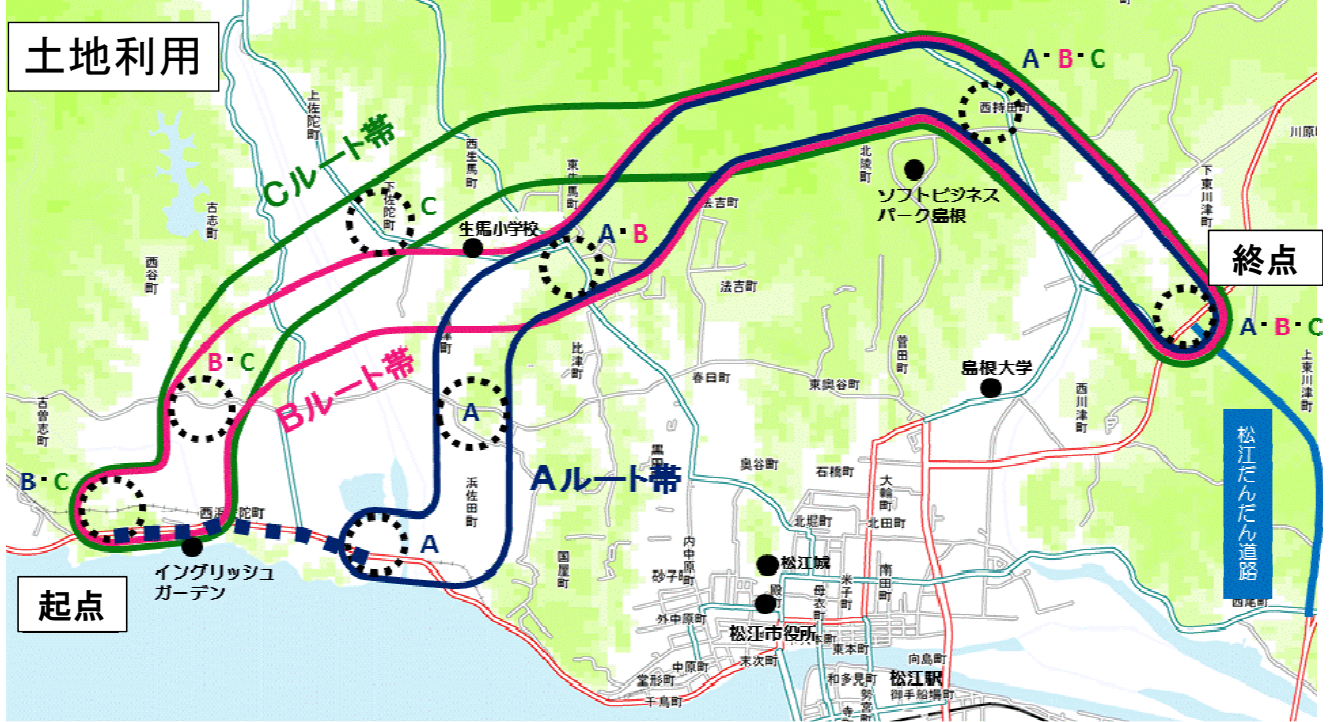


評価の項目	ルート帯案			整備しない場合	
	A案	B案	C案		
起点～終点の距離	約11km ※西浜佐陀町の現道約2kmを含む	約10km	約10km	約11km	
時間短縮(割合) (バイパス機能)	起点～終点	約9分短縮 (-40%)	約12分短縮 (-50%)	約12分短縮 (-50%)	所要時間 約22分
	起点～山陰道 (松江JCT)	約8分短縮 (-30%)	約11分短縮 (-40%)	約11分短縮 (-40%)	所要時間 約27分

交通(2)



評価の項目	ルート帯案			整備しない場合
	A案	B案	C案	
市街地からのアクセス利便性 (環状道路としての機能)	良い (5地点)	A案より劣る (3地点)	A・B案より劣る (2地点)	—
松江市北西部から市街地へ流入する交通量の抑制 (市街地の渋滞緩和)	約80%に減少	約80%に減少	約80%に減少	交通量 約2万台
国道431号(西浜佐陀町)の渋滞緩和	効果なし	効果あり	効果あり	—
車の走りやすさ(走行性)	B・C案より 交差点がやや多い	交差点が少ない	交差点が少ない 勾配が急な山地部の区間が長い	交差点が 非常に多い



評価の項目	ルート帯案			整備しない場合
	A案	B案	C案	
住宅地・コミュニティへの影響	大きい	A案より小さい	A・B案より小さい	—
農地への影響	大きい	大きい	A・B案より小さい	—



評価の項目	ルート帯案			整備しない場合
	A案	B案	C案	
概算事業費	約180~230億円	約200~250億円	約200~250億円	—
工事延長	約9km	約10km	約10km	—
施工条件(地質条件)	軟弱地盤の施工延長が長い	A案より軟弱地盤の施工延長が短い	A・B案より軟弱地盤の施工延長が短い	—

アンケート調査

- 沿線住民、道路利用者を対象として実施します。
- 調査の結果は、計画策定の際の重要な参考資料とします。
- アンケート結果も含めた総合的な観点からルート帯を検討します。

選定した概略計画案(ルート帯)の説明 (第3回意見交換会)

概略計画の決定 (起終点やルート帯などを決定)

詳細計画段階

詳細計画の決定 (具体的なルートの位置や道路構造などを決定)